



東郷小学校だより

令和8年度 4号（通354号）

令和8年7月10日

文責：高畠 拓嗣



学校ホームページはこちらから

星に願いを

「七夕でどんなことをお願いしましたか？」という質問が、七夕の日の給食の時間に放送されました。放送委員会が七夕にちなんで企画したインタビューです。「野球選手になりたい」「足が速くなりたい」等々、代表の子どもたちは、それぞれ自分の夢を語っていました。

昨年の七夕の時期、夢を叶えて、さらなる夢の実現に向けて邁進している方の講演をお聞きする機会がありました。その方は、おとなり秋田県出身の農学博士 前野ウルド浩太郎さん。アフリカでバッタの研究を続けながら、アフリカの飢饉の要因となるバッタの集団発生を未然に防ぐことに尽力されている方です。「ウルド（「～の子孫」という意味）」とは、研究拠点があるモーリタニアという国では最高の 敬意を表すミドルネームで、研究の成果が認められ、国王から授与されたものだそうです。

言葉が通じない現地の人と様々な方法を使ってコミュニケーションをとりながら研究を続けたこと、過酷な自然災害に見舞われ、思うように研究が進まずに苦労した経験などを、明るくユーモアを交えてお話しくださいました。困難なことが起こってもあきらめずに夢を叶えて、さらにその先を見据えて努力し続ける姿に感銘を受けました。

講演の中で、前野さんが「昆虫博士になる」と決意したきっかけについても話してくださいました。きっかけとなったのは、小学生の時に読んだ、「ファーブル昆虫記」。1冊の本との出会いが、前野さんの将来を決めることになったそうです。

さらに、もう1つ素敵な出会いを紹介していただきました。講演会を主催している役員の奥様が、なんと！小学校時代の前野さんの担任だったそうです。お二人で講演の依頼に伺うと、元担任だった奥様に、「昔、クラスみんなでメダカを捕まえに行ったことを覚えていますか？その時、僕に『隊長は前野君ね』と言って、バケツと網を渡してくれましたよね。生き物が好きになったの、その時です。」とおっしゃったそうです。担任の一言が人生を決めることになるエピソードをお聞きし、同じ教員として感動しました。

東郷小の子どもたちは、毎月、詩の暗唱に取り組んでいます。休み時間になると、校長室で、覚えたての詩を披露してくれます。なかには、合格してガッツポーズで喜ぶ子がいます。見ている私もうれしくなるとともに、「もしかしたら、暗唱している詩との出会いや合格した体験が、前野さんのように夢に挑戦するきっかけになるかもしれない」と思いながら、子どもたちに向きあっています。



冒頭の質問「七夕でどんなことをお願いしましたか？」に、私は、「東郷小の子どもにも、前野さんのようにすてきな出会いがありますように。」と答えますが、皆さんはいかがでしょう？



星に願いを
1・2年生が生活科の時間に七夕の飾りを作りました。
一人一人の願いの書いた短冊も飾っています。



4年生 社会科見学
社会科の授業で、西川町にある浄水場を見学しました。
水道管の大きさにビックリ!「どうしてこんなに大きいのか?」と
いう問いから学びがスタートします。



3年生 園児との交流
3年生は、総合的な学習の
時間に、東部こども園の園児の
皆さんと一緒に遊ぶ交流会を
行いました。
園児の皆さんからの「また、
遊んでほしい」の声を受けて、
次の会を計画中です。



5・6年生 ファシリテーションの特別授業

天童市でフリースクールを運営しながら、学校サポート事業を行っている tsunagu 代表 工藤美季様をお迎えして、ファシリテーションを学ぶ特別授業を行いました。ホワイトボードミーティング®という、お互い話したことをホワイトボードに書いて可視化しながら対話を進める技術を学びました。教員向けの研修も実施していただきました。今後、年間を通して、全学年に授業をしていただく予定です。



不審者対応訓練
高崎駐在所の伊豆田様から、不審者の対応について、
「ふだんから大きな声であいさつをしていると、いざという時
大きな声をだせます。」とご指導をいただきました。



しこたん校友会 「コスモス植栽事業」
東郷公民館 伊藤副館長様のご指導のもと、東部こども園の
年長組さん、第三中学校3年生と一緒に、コスモスの植栽を
行いました。

地域の皆様とともに

6月29日、地域と協働しながら学校教育目標を実現するために設立された学校運営協議会を開催しました。また、7月7日に、しこたん校友会（第三中学校区連携事業）の活動の一環として民生児童委員さんから授業を参観していただき、その後、情報交換を行いました。それぞれの立場や視点からの貴重なご意見をいただきました。

学校運営協議会 委員		主任児童委員・民生児童委員	
氏名	役職等	氏名	担当区等
◎奥山 茂 様	東郷公民館長	小林キエ子 様	東郷地区主任児童委員
椎名 徹也 様	東郷小学校PTA会長	太田 慶子 様	入1、入2、上野台
佐藤 弘敏 様	東郷地区子どもクラブ育成会会長	太田 勝則 様	上川原、後沢、下川原
安達智恵美 様	東郷小学校母親委員長	◎菅原 悦子様	本郷、和合向、西戸1、西戸2
菅原 悦子 様	民生児童委員代表	太田ふみ子 様	下野川、中野川、上野川
清野 和紀 様	梅菓子本舗松野屋代表取締役	滝口 キヨ 様	太田新田、東若木、川向、白水荘
滝口奈穂美 様	地域コーディネーター	奥山 洋子 様	八幡町、向原
		東海林早苗 様	沼沢
		小山田ひとみ様	行沢、越倉、楯畑、木戸口、岩崎

いただいたご意見

少人数学級の強みの発揮

- ・ 少人数だからこそ、児童がわからないところを質問しながらわかるようになるプロセスを大切にしてほしい。
- ・ 単に正解を答えるだけでなく、時間がかかる子が「できた」「とけた」と実感した時にしっかり褒めて自信を持たせることが重要である。
- ・ 今年度の重点であるファシリテーション力を育てる取り組みに期待している。児童同士の教え合いやかかわりを生み出して、お互いに褒め合える学級づくりにつなげてほしい。

教員ファシリテーション研修の様子



学年による学習状況の差と課題

- ・ 落ち着いて学習に取り組んでいる学級がある一方で、姿勢が気になるような学級もある。

ICT(PC 入力)と筆記(書くこと)のバランス

- ・ パソコンでの入力と「手で書くこと」のバランスについて考える必要がある。書くことで記憶が定着する側面もあるが、書いても忘れることもある。現状、校内の掲示物の文字はきれいに書かれている。

いじめ等の防止・生徒指導

- ・ からかい等いじめにつながる事案が発生した際、学校の適切な指導をお願いしたい。子どもたちが発する「言葉」の重みを大切にし、先生方は忙しいかもしれないがしっかりと子どもたち一人ひとりを観察してほしい。
- ・ あいさつは地区によってばらつきがある。元気なあいさつをめざしてほしい。

保護者や地域との連携

- ・ 夏祭りや運動会などの行事を見る限り、保護者同士は仲が良いと感じる。ただ、その輪の中に入れず孤立している保護者いないか気になる。子ども同士だけでなく、保護者同士のつながりのあり方について、考える必要がある。
- ・ 登下校の途中でけがをした子を見かけた場合などは、すぐに学校と連絡をとれるような体制をつくっていく。そのために日ごろから情報を共有する機会を大切にしていきたい。